通明小学校の酒井好和校長先生がおいでになってくださり、子ども達と交流して下さいました。





No.262

平成 26 年 10 月 10 日発行 社会福祉法人円福会 円福寺愛育園 園長 藤本光世

当園で初めての大運動会ができました。今月号は、第一回円福寺愛育園大運動会特集です。

児童養護施設連盟が主催する運動会の前に、当園だけの運動会をしたい。これは、私がこの仕事に携わってからの願いでした。

これまで、総練習はありました。総練習と言うので、すべての種目をやってみるのかと思っていたら、なんと横田グランドの隅っこを使って入場行進だけなのです。そんなのやっても、当日のマラソンやリレーで勝てないでしょう。全力を尽くして練習して、最善を発揮しなければ運動会に参加する価値はありません。運動会にはお楽しみの種目があります。パン食い競争とか、幼児さんの宝さがしとか。それはそれで良いでしょう。でも、一番重要なのは、青谷副園長がいつも言ってい

るように、行事が普段の生活に生きなければやる価値がないのです。普段の生活に生きるとはどういうことでしょう。それは、全力を尽くして準備して、当日は全力を尽くして力を発揮する事です。そこには子どもの美しい姿があります。競技する子どもも、それを応援する子どもも感動があります。感動を通して心が満たされるのです。物を貰ったって心は満たされません。満たされ、癖となるのは、物貰い根性です。だから、昔の園の子ども



は、他人の前で恥ずかしげもなく「これ欲しい」と言うのです。子どもの顔がそれを言っている。 そんな子にしてはいけません。

運動会で、私が全力を尽くして勝利を目指して欲しい種目が3つあります。マラソン、百足リレー (施設対抗リレー)、児童対抗リレーです。子どもも職員も9月の初日から練習してきました。今年は、みんな全力で取り組んでいると聞きました。嬉しかった。これを、愛育園だけでやりたい。そう思って、青谷副園長にお願いすると、すぐにグランドを探してくれて、塩崎の山崎公園グランドを予約してくれました。(「すぐやる 言訳無用」「すぐやる 必ずやる できるまでやる」が愛育園の合言葉です。)

ここからは、職員が自分で、自主的に考えてくれました。その動きは凄かった。特に応援合戦。

(平成 26 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」459 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

これは、青谷副園長が福岡の出身で、私は福岡では高校で応援合戦をすることを知っていたので、 やれないかと話したことがきっかけでした。職員も子ども達も一体となって、グランド一杯を使っ た感動的な応援合戦ができました。この他にも、200メートルトラックをつくったり、入場門をつ くったり、マラソンのコースを考えたり、何から何まで、本当に立派な運動会ができました。何を するのにも全力を尽くす今の職員と子ども達の姿勢がここに表れたのです。

ご来賓にはお忙しい中を通明小学校の酒井校長先生や唐木区長さま、第三者委員の栁澤さま、長 栄会の松沢さまにおいでいただき、午後1時から5時過ぎまでかかった運動会の一部始終をご覧い ただきました。有難い事でした。

さあ、来年はもっともっと立派な運動会になりますよ。期待してください。

初めての愛育園大運動会

副園長 青谷 幸治

何をするにも初めてのことは大変なこと。しかし初めてのことをやることでその先の歴史や伝統を築いていくことを考えるととても名誉なことであり、やりがいにもつながります。

そんな思いをホーム長と語りながら準備をスタートさせました。

運動会を成功させる裏側には、やれば何でもできる。時間や労力が問題ではなく、やってみようと思う前向きな気持ちを持ち続けることを職員、児童は身につけてほしかった。施設にいることの負い目やマイナスイメージを払拭させるためにも自信と勇気とやれば何でもできるという強い気持ちを身につけるために難しいことにチャレンジしました。

特に応援合戦、百足リレー、マラソンは力を入れて取り組みました。入場門からトラックのライ

ン引きまで本格的に準備しました。すべて自 前で準備できることを職員、児童自ら証明し てくれました。運動会は大成功。子ども達の 目は輝いていました。

また来年、素晴らしい運動会になることを 望みます。寝る間を惜しんで取り組んでくれ た先生方ありがとうございました。

そしてお忙しい中、来賓として来ていただいた通明小の校長先生、西横田区長様、長栄



会会長様、第三者委員の柳澤様、子ども達の勇姿を見ていただき本当にありがとうございました。

第1回愛育園運動会を振り返って

保育士 冨沢正樹

9月28日、園で初めての運動会が開催されました。この愛育園運動会、その後の施設運動会の 予行練習を兼ねていたのですが、せっかく運動会をやるのだから、ただの予行練習では面白くない し、もったいない。と思い、「子供がわくわくして、本気になれる運動会」を私自身のテーマに掲げ 準備を開始しました。

http://enpukuji-aiikuen.com/

まず、子ども達に告知。「愛育園で赤組、白組に分かれて運動会やるよー!」。そう伝えただけで、 まだ何組かもわからないままに「やったー」「絶対勝つ!」とリアクション。

こういった行事になんの抵抗もなく、素直に「頑張ろう」「楽しそう」と思える愛育園の子たちは 本当に素晴らしいな。と思います。

私達職員も今まで運動会を計画した事などなく、本当に全てが手探りでした。が、副園長先生に アドバイスをもらったり、職員同士が「入場門作ろう」「得点版の板はどこで調達する?」「競技中 の音楽、いいの見つけた」と協力し合う中で、どんどん準備が進んでいきます。

プラカードや得点版、バトンに等賞旗。園の中に運動会の用品が増えていくと、子ども達の気持 ちも更に高まり、練習に熱が入ります。

今年の運動会練習は本当にすごかったです。

毎日のマラソン練習では3キロと2キロのコースがあるのですが、ほとんどの子が3キロを行き、 小学1年生の子までもが3キロ走り切ってしまいます。(小1のある男の子はゴールすると辛くて 泣いてしまうのに、翌日、平然と3キロコースを選びます。)

百足リレーの練習も2チーム作るため、小学生から高校生まで総勢23人を選抜し、週4日、足 に擦り傷をつくりながら練習しても、誰一人として「辞めたい」と発言をする子はいませんでした。

特に中高生女子のみんなの「や る時はやる」精神は素晴らしか ったです。

また、特別種目で応援合戦を つくり、小学生はオリジナルの 応援と3・3・7拍子を、中高生 女子はチアの動き、中高生男子 は空手の型、最後にみんなで応 援ダンスを予定したのですが、



それぞれのパートと最後のダンス、共に難易度が高 く、完成は難しいかなと思っていました。実際、練 習開始時には応援合戦に消極的な子もいました。 「間に合わないかな」と少々焦っていたら、突然、 動きに合わせられる子が1人、2人と増えて来まし た。不思議に思って後から聞くと、何やら学校の休 み時間にこっそり練習を重ねていたそうなのです。



兵君も瞬君も大の苦手です。こんなにも前向きな姿が見られるなんて、本番は絶対成功させてあげ

(平成 26 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」459 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

たい。強く思いました。

準備を進め、練習を重ね、いよいよ 当日。愛育園の児童と職員だけですか ら、休む間もなく次々に種目がまわっ てきます。白組・赤組の座席にはほと んど誰も座っていません。スタート合 図係の園長先生さえもあちらこちら に駆け回ります。また、初めての事で



予想外に人手が足りなくなっている所が出てきたりすると、中高生たちがサッとフォローにきます。 まさにみんなで作り上げた運動会でした。

みんな、これまでの練習でつけた自信と、運動会の雰囲気の中、必死な顔や清々しい笑顔をたく さん見せてくれました。小学生は通明小の校長先生が見に来てくださり、余計に張り切っていまし た。応援合戦も見事に緊張に打ち勝ち、大きな声と動きで大成功しました。最終種目のオールスタ

ーリレーでは白組全員・赤組全員がバ トンをつなげて競い、大いに盛り上が りました。私の白組はこのリレーに負 けてしまい、結果、49 対 45 で赤組が 総合優勝し、優勝カップを持っていか れてしまいました。

本気で喜ぶ赤組と悔しがる白組。こ れぞ運動会。

記念すべき第1回愛育園運動会、子 どもの成長の大きな舞台になったよ うに思います。

白組、来年は絶対優勝しよう!!!



第1回愛育園大運動会

まごころ・そよかぜホーム長 石崎早織

「今年は愛育園でも運動会をやろう」という園長先生の一声があり、8 月の中旬頃から準備を行 ってきました。どんな物にするか、何を準備したらいいのか、メンバーをどのように決めるのか、 本当に0からのスタートで、私自身運動会がどのようになるのか想像も出来ませんでした。本当に 愛育園だけで運動会ができるのか・・・。という思いもありながら、準備や練習がスタートしまし た。また青谷副園長から応援合戦をやってみようと話があり、小学生、中高女子、中高男子でどの ような形でやるか、どのようなものがあるのかなど調べるところから始まりました。高校によって は体育祭で応援合戦を行っているようで、色々な高校を調べ参考にしました。中高女子はチアをや

http://enpukuji-aiikuen.com/

ることに決め、平日はみんな揃う 21 時過ぎから練習を行ってきました。みんな疲れている中での 練習でしたが、本番で成功させたいという思いがみんなの気持ちを一つにし、頑張って取り組むこ



とが出来ました。後は本番堂々と踊れれば完璧です!!そして本番。応援合戦の順番になりみんなドキドキしながら、自分達の出番を待ちました。本番用にかわいい衣装も準備していただきました。とにかく振りを大きく!!そして笑顔で踊ろうと言ってきました。緊張しながらもしっかり練習の成果を出すことが出来たと思います。

さまざまな競技に私たち職員も参加し、子

どもと一緒に楽しい時間を過ごす事が出来ました。初めての試みでたくさんの心配はありましたが、 みんなで力を合わせれば何でもできる!! と改めて感じることが出来ました。また今回は職員だけ の力だけでなく、子ども達も本当に積極的に準備など手伝ってくれました。みんなの力や想いが一 つとなり、大成功で終わることが出来ました。次は施設運動会に向け、またみんなで気持ちを一つ にし、いい成績が残せるよう頑張りたいと思います。

第1回愛育園運動会 児童感想

中 1 密沢琉夏

愛育園で行った初めての運動会。心に残った事があります。

一つ目は、応援合戦です。応援には青空ホームの中高生だけでやる「空手」と、女子の中高生と 一緒に踊る「贈る言葉」がありました。

「空手」では、僕が団長になりました。団長の役目は、ソロ部分と、飛び上がる部分です。ソロ部分は竹内先生と一緒に覚えました。最初は、「これで大丈夫なのか。」と思ったけど、だんだん形になってきました。

飛び立つ部分は優介君と冨沢先生 と竹内先生の背中を踏み台にジャン プするというものでした。

最初は、乗る前に怖がってしまって 乗れなかったり、乗れても滑って落ち てしまったりと色々な事がありまし たが、本番を成功させることができま した。嬉しかったです。こんなに気持 ちが高まるとは思いませんでした。



二つ目はマラソンです。僕は園に来て以来、マラソンで賞状をもらった事がありませんでした。

(平成 26 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」 459 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

今回、なんとか入賞したいと思い、部活のない日に練習してきました。

そして、本番。10 位以内に入れるか、不安と緊張がある中、ピストルの音と同時に走りました。早くも、踏切のところで横腹が痛くなり、スピードを下げました。「後ろに抜かされていく」「もうダメだ」と思いました。でも、そこからあきらめませんでした。必死に前の人を抜かそうとするけど、腹が痛くなって抜かせません。あともう少しという所でやっと抜かしたのに、もう体力が残ってなく、また抜かされてしまいました。でも、またあきらめませんでした。最後の数 10 メートルで全ての力を出しました。青谷先生から順位票をもらってみると、「第7位」と書いてありました。嬉しくて「よっしゃー」と大声で叫んでしまいました。

表彰式で、ずっと欲しかった賞状をもらいました。

「やればできる」。運動会で大切な事を学ぶことができました。

第1回愛育園運動会 児童感想

高 2 大日方恭兵

愛育園運動会の当日。僕は白組でした。最初に準備体操をして、その後、僕は疾走やパン食い競争、マラソンに応援合戦、百足リレー、最後にオールスターリレーに参加しました。僕はマラソンや応援合戦が楽しみでした。

疾走は短距離に自信がありませんでしたが1位になった時は嬉しかったです。パン食い競争では 酒井先生と二人三脚をやりました。カーブが少し心配だったけど、上手に曲がれて良かったです。 そして、僕が楽しみにしていたマラソンでは最初の方からトップでした。走る所にジャリ道があり 走るのがきつかったし、苦しかったです。だけど、最後までねばり走れたので良かったです。順位は1位でした。とても嬉しかったし、自分で最後まで走り切ったという達成感がありました。次は 応援合戦本番です。僕は空手の部分で心配事がありました。僕は回し蹴りの所が出来るか出きないかで少し心配でした。でも、本番ではしっかりできたし、大きい声も出せました。空手の後は「贈る言葉」のダンスです。最後のポーズがしっかり決まって良かったです。百足リレーでも練習した 成果を発揮できて良かったです。そして、最後の競技、オールスターリレーでは赤組も白組も一致 団結が出来ていたので良かったです。

僕は、愛育園運動会を経験して、10月4日の施設運動会の決意をしました。それは、どんなに苦しくなってもゴールに着くまであきらめない事です。どの競技でもです。僕はその目標を達成でき

るように、本番では1位になれるように 頑張りたいです。

・運動会で心に残った事が4つあります。 その中の一つは応援合戦です。応援合 戦は小学生と中高女子と中高男子に分 かれてやりました。大きい声で間違え ずにきれいに並べたり、きれいに組み



http://enpukuji-aiikuen.com/

体操も出来て良かったです。中高生の女の子と男の子の発表もすごかったです。(小学校5年生 A さん)

- ・マラソンでは踏切の辺で転んでけがをし てしまい、泣いてしまいましたが、色々 な先生に頑張れ!大丈夫だよ!と言って もらい赤組の為に頑張って走りました。 最後に赤組が優勝しました。嬉しかった です。 (小学校1年生 U さん)
- ・愛育園だけでの運動会、それを聞いた時 私は「えっ何やるの」と興味があった半 面「ホントにできんの」と不安がたくさ



んでした。応援合戦では、とてもレベルが高く、正直出来るのか不安でした。足の動きや手の動 きが大きくてついていくのがやっとでした。せっかくかわいい服を着て踊るのだからバラバラで はダメだなと思い、先生や友達に聞いて練習しました。その結果、本番では自分のベストで踊れ ました。(高校2年生5さん)

第一回 愛育園大運動会!!

9月28日、愛育園で初めての大運動会が行われました。天候に も恵まれ、子ども達もとても張り切っていました。準備の段階から 中高生たちが積極的に動いてくれ、小学生や幼児さんも万全の準備 を整え会場へ向かいました。

後から会場へ着いた小学生や幼児さんからは「すごーい!」と声 を上げはしゃぐ子や、早く始まってほしくてうずうずしている子、 絶対優勝すると意気込んでいる子がいました。

たくさん練習を重ね当日を迎えましたが、それぞれが練習以上の

力を出し、また、仲間を一生懸命応援し励ましあう 姿など、普段の生活の中ではなかなか見られない良 さが自然と出ていました。ある幼児さんは、普段の リズムの練習では、周りと合わせられず、一人だけ 練習に参加できずにいましたが、当日は音楽に合わ せてニコニコ笑顔で楽しそうに踊る姿を見ること ができました。周りから「かっこよく踊れていた ね!」と声をかけてもらい、照れくさそうにしてい ましたが、自信へ繋がる良いきっかけにもなったよ



保育士 武井萌



(平成 26 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」459 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

うに感じます。

来年は今年以上のものを作りあげ、また、4日に行われる施設運動会に向けて残りの日数一生懸 命練習に取り組みたいと思います。

二学期課外活動報告

あおぞらホーム 山口 亮

2 学期の課外活動が始まり早くも3回の活動が過ぎました。その中でも特に印象に残ったザリガ ニ掴み。去年は松代町の東条小学校周辺の川にたくさん生息していたということもあり今年もそこ へ行ってきました。児童の中にはザリガニを掴むという事に抵抗のある児童も居ましたが始まって みれば1匹目を恐る恐る掴んでいた子どもも量を捕まえる内に慣れてきました。 最終的に帰る前に はザリガニ 92 匹、魚やカニを合わせると 100 匹を取ることができました。 2 学期からは月ごとの 目標(日記をしっかり書く、宿題をきちんと終わらせる・・・)を定め、よりよい活動になるように職 員と一緒に取り組んでいきます。子ども達の作文の中からいい

ザリガニつかみ 小5年 T.A

ものを1つご紹介します。

今日は松代町東条小学校の川でザリガニをとりました。最初 にいった川にはぜんぜんいませんでした。その次の川ではザリ ガニがすごいたくさんいました。カニが19匹、どじょうが14 匹で魚もいました。魚は1ぴきは私のサンダルの中にいて、も う1ぴきは酒井先生がつかまえてくれたので2ひきになりました。

1番多く捕まえたのがザリガニが 92 ひきで後もう少しで 100 ぴきになる所だったので、とても

おもしろかったです。来年行く事になったらぜったいに100 ぴきとりたいです。

敬老の会

まごころ・そよかぜホーム長 石崎 早織

今年度も西横田の敬老の会にお招きしていただきありがとうございました。今年はどんなものを プレゼントしたら喜んで頂けるかみんなで考え、小学生は「匂い袋」幼児さんは「しおり」と「コ ースター」をプレゼントすることにしました。幼児さんはみんなで土手へ行き、お花を摘み押し花 を作りました。それを元にしおりと、コースターを作りました。小学生は匂い袋の袋から製作し、

高学年は手縫い、低学年は接着剤を使い上手に袋を作 ることが出来ました。また小学生は歌のプレゼントも したい!!ということで「見上げてごらん夜の星を」 を発表することにしました。本番は緊張して声が小さ くなるかなと思っていましたが、みんな気持ちを込め て上手に歌うことが出来ました。長栄会の皆様にも喜 んで頂き、喜んでくれた姿を見て子どもたちも嬉しそ うにしていました。ありがとうございました。







園内保育だより



今年の秋は、早く訪れましたね、園内保育では、『芸術の秋日アスポーツの秋日などう楽しんでいます。 今回はそんなさまざまな活動から子どもならの様子をおはえしますか



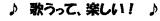
敬老会のみなさんに、 しおり作りをしました

いつも温が見ず、て下さ、ている敬を公。皆さんへの プレゼントにしおり作りをしまして、草花採取では、これよさかいては来、まがありては、たい方が聞かれば 台紙に真例で表情で並ぶて出...。かいては、「おいい さん、おばあさんに喜んでしまいしょと、日頃の感謝を こめて、一生懸命作っていましては必

先生は、年長さん!? 折り紙制作「どんぐり」をしました

今回は、事前に年長さんに「どんごり」の折りなといさい子 への教え方の指導をし、みんけるで折る時には年長でんから小 さい子たちに教えてもらいまして。

いさい子のペースに合わせて1つの工程が終わるまで辛抱強 く待つことや 代わりに折れあげるのでなく、 1 できるまで放えてあげる…優にさしょ № 忍耐を学みで年長されば、とても 良い "先生"でしているさ



園内保育では、歌りことを楽しんでいます。今年度は、子だしてちの様子に合わせ、童謡をしくさん歌っています。か~ 『どんでりころころ』『まっしま、くりょ『大きな東の木の下で』『ありさんのおはなしょりよど、子どもたちの可愛い歌声が響きます。 『ありさんのおははし」の介養では、途中に装飾者が入ります。その装飾者を気に入り、件奏に合わせて からりと トゥリントと言って、音の心地よさを感じていまけて、

最近は 装飾音。部分は手をたけいて拍さしてとらん たり、前奏や間奏、後奏をハミングする姿が、とこも 可愛らしいです (*^o^*)





夏みた鼓、2万年初めてでしたが、ハッチを構て踊るとJeも達もマテレはから ノリノリで願てくれ、【ぐに覚えることができるした! 層度(00%)はま年踊たもりを覚えているようで 思い出しなから踊る子もも達、園内保管で主に練習を重ね、いないる愛園大運動会!ベンタナにオーホー で見いつけ、一生懸命に踊る安はとこも可をらいかたご見

ナモな ワラウンドで 今年初めて聞いてこともめり、緊張や不安も おいと思いよれか、子もと達 にいる良い経験となたのでいるないかと思いるの よた10月4日, 施設運動会水楽しみで7!m





* Q目5日は園内保育のプレンタ内のを介いまして。6月27日にプル関き をし、27月プロル治動を行ってきまして。 最初は水に顔もつけることに 松れを感びて、に多ざも達も別くいましたが、少しずっ水がかかっても平気に なり、「先生見て~」と自ちゃりついに顔をつけて見むていました。

又青垣かしいへ行くこともできまして。しいもと遠て大きいかしいでん申が伸が 泳で練習をすることもできまして。

プール細のの念では、園長光生にも来ていただき、今までの紅曜の成果を 深表はい、フラフーかり中もらい泳さけがら通でり、年長さんは自分のう 潜って泳ぐこともできました。つしい治動は多いも達が大きく成長するものス付。 今年3×4達の成長をたくさん見ることができまして。また「Tがも無く、無事プール 治動を終えることができなかってこです。

西横田合同防災訓練

保育士 酒井悠紀

9月7日、西横田地区にて防災訓練が実施されました。毎年9月に地区と合同で行われる防災訓 練です。今年は愛育園がメイン会場となり開催されました。今年の訓練内容は全部で5つ。避難訓 練、児童救助訓練、消火訓練、通報訓練、そして AED 訓練です。まず町内放送により、児童・職 員、地区の方々が愛育園に集まりました。当園前の広場にはたくさんの方が集まり、組ごとに並び ました。愛育園の児童も地区の方同様に集まります。しかし、ある男児のみ姿が見えません。(救助 訓練のため、室内に待機しています。) 地区防災班にこの事態を報告し、大人 5 人で救助に向かいま す。救助される男児は、布団の上に寝転がり待っていました。救助班は、布団ごと持ち上げ、男児 を運び出し、無事救助完了です。その後、地区の方に混じり、児動・職員は消火器による消火訓練 を実施。今回は消火器から水が出る仕組みのタイプを使用しました。火元のポールめがけ、集中し ていました。いざとなれば消火器の実施も有り得るだけに、貴重な体験をさせていただきました。 通報訓練は実際に、119番通報を行い、消防局のオペレーターの指示に従い、話しを進めます。現 在地や、目印になる建物、道路から西なのか東なのか、けが人の有無や火災の状況、通報者の連絡 先等、わずかな時間の中に、沢山の情報があり、訓練だと分かっていても緊張がありました。実際 現場に出くわしたら、落ち着いて通報ができるのか不安を感じつつも何とか成功する事ができまし た。その後 AED による心肺蘇生訓練を実施、数ヶ月前に当園でも実施したばかりなので、職員は とてもスムーズに、そして迅速な対応ができました。日々の訓練が本当に大事であると実感しまし

当園では毎月避難訓練を実施しておりますが、今回のように大規模な訓練は、年に一度、この合同訓練でしかありません。実際の災害などに備え、貴重な訓練がこれからも実施できますように、地区に根付き、頑張りたいと思いました。

地附山エコロジー大作戦

あおぞらホーム 山口 亮

9月13日に地附山で行われたエコロジー大作戦に行ってきました。この地附山では30年ほど前に大きな地すべりがあり、近年では植樹や間伐をして再生に取り組んでいるようです。今年からは

まごころの小学生も参加しました。開会式が終わると約1時間30分の長い間伐作業でしたが、子ども達はみんな軍手とノコギリを持ち指導員の方の指示に従って間伐作業に取り掛かりました。集中するとあっという間でものの30分で決められていた間伐場所は終わりましたが、子ども達の「まだやりたい」の声に奥の方まで作業に入りました。ここには他の施設の方々も来ていましたが上のほうから休憩と飲み物の声がかかると引き上げてしまいま



したが、愛育園の子ども達は休憩の声がかかっても中途半端にせず、最後まで間伐の作業をやって

(平成 26 年 10 月 10 日発行 月刊「円福」459 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

いました。一通り間伐を終えて休憩を **10** 分ほど取るとまだやり残した所があると再び作業に戻っていく姿があり、切り倒した木を細かく切り分けて全体の作業を終えました。時間いっぱいまで真剣に取り組む姿は去年と違いとてもいい変化を感じました。

作業が終わった後は、みんなで広場に行きライオンズクラブさんが作ってくれた美味しい豚汁をいただきました。作業が作業なだけにみんなお腹もすいていて食べる子はたくさんおかわりをしていました。片付けから帰るまでしっかり話を聞き帰ってくる事ができました、ここで見えた子ども達の取り組みを今後の行事にも生かせるよう声をかけていきたいと思います。

アルプスピアホーム交流会

副園長 青谷 幸治

今年も9月6日にアルプスピアホーム様総勢70名のボランティアの方々と児童との交流会を行いました。昨年に続き2回目ということもありましたが、昨年の倍の方々に来ていただきあまりの多さに子どもたちも圧倒されましたが、大きい子はバスケットボール、小学生や幼児さんはバルーンアートや泥だんご作りなど楽しいひと時を過ごすことができました。また管理棟・体育館の窓ふき

清掃などもやっていただきました。昼食はバーベキューです。たくさんお肉を食べました。かき氷や焼きマシュマロなど子どもたちが喜ぶものを準備していただきました。短い時間ではありましたが子どもたちが満足している姿を見れました。ボランティアの皆さまには自転車などで寄贈の品をいただきました。大切に使わせていただきたいと思います。また来年も引き続きよろしくお願いします。そし



て子どもたちのために細く長いお付き合いをしていただければ幸いです。本当にありがとうございました。

調理室だより

調理員 武田絵里子

木曜日のパンの日以外、毎朝作っているお味噌汁。具を煮て、だし、味噌を入れる簡単なお料理 のように思えますが、意外にも奥が深く、難しいのです。

味噌汁の具は毎日違います。また、野菜もその季節によって水分や甘さ、硬さなどが違います。 ちょっとしたその違いのため、その時によって味噌の量も多少違ってきたりします。野菜を入れる タイミングも大事で、早すぎてはクタクタに、遅すぎても硬いままとなってしまいます。

毎朝、慌ただしい中でも野菜の状態やいろいろなタイミングを見て作っているおみそ汁が空っぽ になって戻ってくると嬉しくなります。

これからも毎朝、おいしいお味噌汁が子ども達に届けられるよう頑張ります。